



「地域のささえあい活動」について

深伊沢地域づくり協議会 福祉文化部 NO1

2025年問題 「超」高齢化社会がやって来ます！！

皆さんは『2025年問題』という言葉をご存じでしょうか？

高齢化が進む現在の日本は、団塊の世代の方が75歳以上となる2025年に、高齢者人口（65歳以上）が約3,600万人となる、「超」高齢化社会を迎えます。

深伊沢地区も他人事ではなく、高齢化率が 31.8%（鈴鹿市全体 25.6%）で鈴鹿市の高齢化率を超え、高齢化が進んでいる地区となっています。

→今後、生活面や介護面等で、支援が必要な方が大幅に増加する見込みです。

福祉の制度があるから大丈夫？・・・答えは、**NO!!**です



介護保険サービスなど、公的な福祉支援だけでは対応できない、

「ちょっとした困りごと＝制度の狭間」に困っている方が、近年増えています。

（生活上のちょっとした困りごと）



自宅の草取り



通院の付き添い



ごみ出し



電球の交換

☆この様なちょっとした困りごとを、「気軽にお手伝いできる仕組み」が必要です。



「地域のささえあい活動」

今後は既存の福祉サービスに頼るだけではなく、住民どうしてささえ合う取り組みが求められています。



深伊沢地区でも地域のささえあい活動について検討してます

前回のアンケート結果を基に、住民同士の支え合いについて、下記のような支援内容を検討し、具体的な取り組みを吟味したうえで実施していきたいと思っています。

(2020年11月実施 有償ボランティアサービスアンケート結果による＝60歳以上抽出138名)

家庭内支援

ごみ出し



家具の移動



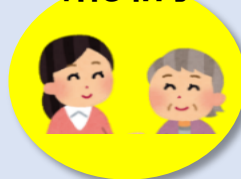
電球の交換



季節家電の入れ替え



話し相手



外出支援

病院・買い物の付添



屋外支援

自宅の草取り・庭木の剪定



この様な、公的な福祉サービス（介護保険等）だけでは対応ができない、日常生活における「ちょっとした困りごと」を住民同士でささえあう活動です。

.....キリトリ.....

ご意見等ございましたら下記連絡先までお寄せください

深伊沢地域づくり協議会（深伊沢公民館内） ☎374-2996



ご意見